

しもつけの環境

・・・環境状況報告書・・・
平成30年度版（平成29年度実績）



トウサワトラノオ



キツリフネ



カザグルマ



ジャコウアゲハ



オオイヌノフグリ



ショウジョウトンボ



ノアザミ



龍興寺のシラカシ

平成30年9月

下野市

はじめに

本市では、環境の保全及び創造について、基本理念を定め、並びに市、市民、事業者及び滞在者の責務を明らかにするとともに、環境の保全及び創造に関する施策の基本となる事項を定めることにより、環境施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来の市民等の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とし、平成24年3月に「下野市環境基本条例」（以下「基本条例」という。）を制定しました。

基本条例第12条においては「環境の状況及び環境の保全及び創造に関する施策の実施状況を明らかにした報告書」を定期的に作成し公表するものと定められています。

また、平成25年3月に策定した「下野市環境基本計画」（以下「基本計画」という。）の中では、環境調査・測定結果や計画の進捗状況、市民等の環境保全活動などのさまざまな情報を体系的に整備し「しもつけの環境」として市民等へ提供、発信することを取組のひとつとして掲げています。

この「しもつけの環境」は、基本条例と基本計画に基づき、下野市の環境状況や基本計画の進捗状況などをまとめ、皆様にお知らせする報告書として作成したものです。

本報告書を踏まえて今後の取組に反映させ、市民の健康で文化的な生活を将来の世代にわたって確保し、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築を推進します。

目 次

1	計画の概要	(1) 目的	1
		(2) 計画の位置付け	2
2	計画期間		2
3	取組（施策）の体系		3
4	取組の状況	個別目標 1－1 多様な生物と共生する豊かな里の保全と再生	5
		個別目標 1－2 大地がはぐくむ豊かな水と健全な水循環の保全と再生	8
		個別目標 1－3 環境にやさしい産業の推進	9
		個別目標 1－4 良好な景観と歴史文化がかおるまちづくり	12
		個別目標 2－1 さわやかで澄んだ大気や水の保全と向上	14
		個別目標 2－2 安心してらせる安全で快適な生活環境の確保	17
		個別目標 2－3 放射性物質による環境汚染への対応	21
		個別目標 3－1 ごみゼロ社会の形成	22
		個別目標 3－2 資源が循環するしくみづくり	25
		個別目標 4－1 省エネの推進	26
		個別目標 4－2 創エネ・蓄エネの推進	29
		個別目標 4－3 環境負荷の少ないまちづくりの推進	30
		個別目標 5－1 環境学習・環境保全活動の推進	32
		個別目標 5－2 環境パートナーシップの形成	33
		個別目標 5－3 環境調査・環境情報の整備と発信	34

1 計画の概要

(1) 目的

今日の環境問題や課題に対応し、持続可能な地域社会の構築をめざしていくため、環境の保全と創造に向けた長期的な目標とその実現に向けた施策や取組を明らかにし、総合的・計画的な展開を進めていくことにより、基本条例に掲げた基本理念の実現を目的として、基本計画を策定しました。

下野市環境基本条例の基本理念

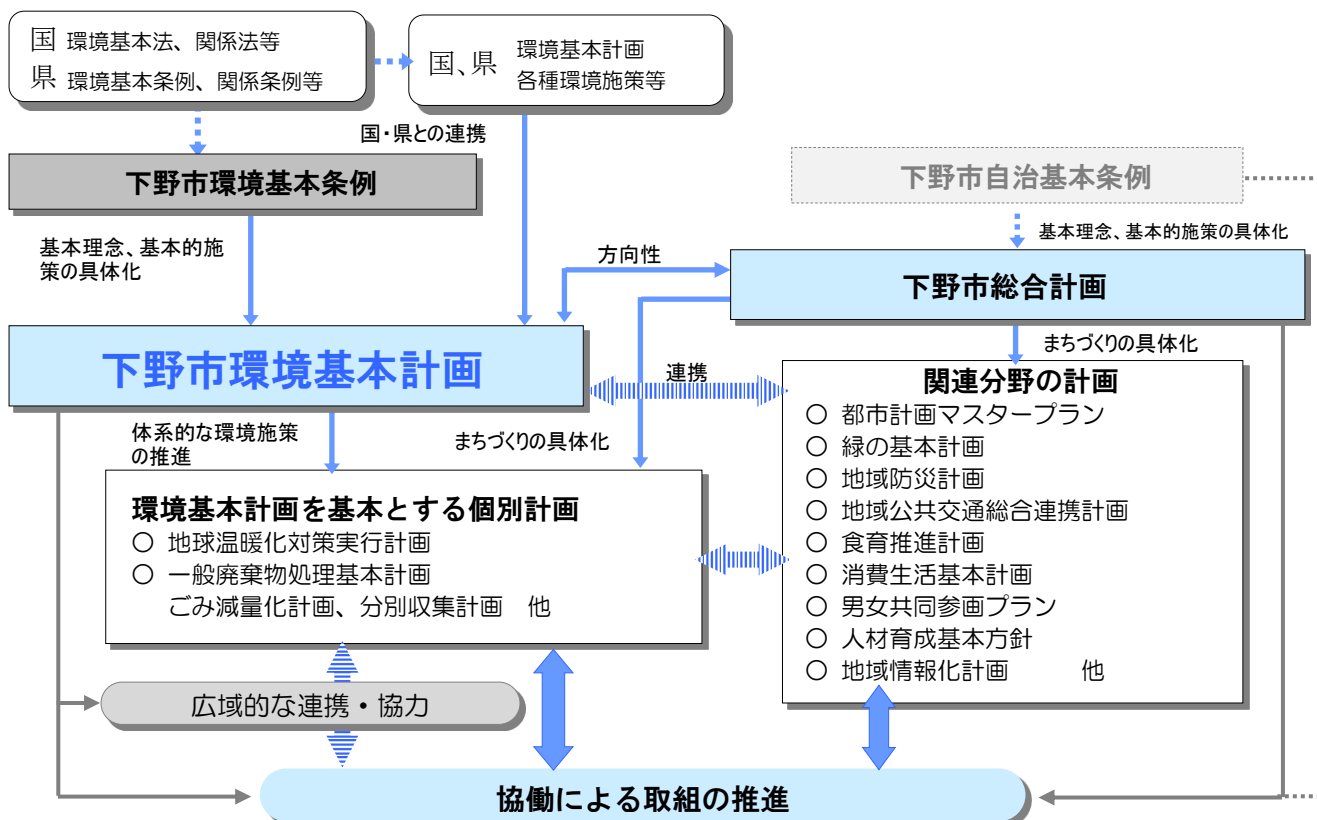
- 1 環境の保全及び創造は、健全で恵み豊かな環境が市民等の健康で文化的な生活に欠くことができないものであることにかんがみ、本市の特長を生かしつつ、この環境を将来にわたって維持し向上させ、現在及び将来の市民等がこの恵沢を享受できるよう積極的に行うものとします。
- 2 環境の保全及び創造は、歴史と伝統の下、人と自然が共生し、市民等が快適に生活できる都市と農村の実現を目的として、生物多様性の確保に配慮しつつ、自然環境、歴史的・文化的環境、生活環境及びまちの景観を良好な状態に維持し、向上させることによつて行うものとします。
- 3 環境の保全及び創造は、環境への負荷の少ない持続可能な地域社会を構築することを目的として、市及び市民等の公平な役割分担と協働の下に積極的に行うものとします。
- 4 地球環境の保全は、人類を含む生物すべてにかかわる課題であるとともに、市民等の健康で文化的な生活を将来にわたって確保する上での課題でもあることにかんがみ、すべての事業活動及び日常生活において積極的に推進されるものとします。



蔓巻公園沿いの姿川

(2) 計画の位置付け

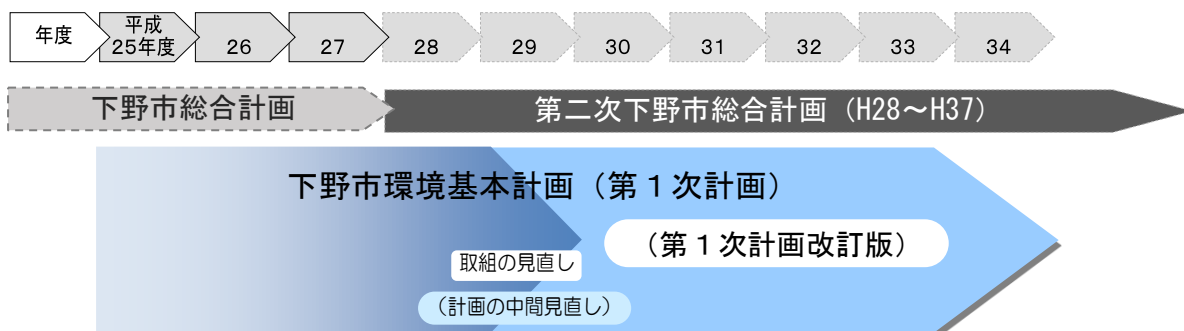
基本計画は、基本条例第 11 条に基づいた環境分野における最も基本となる計画です。市の取組だけでなく、市民等との協働による取組の方向を示し、みんなが環境に関心を持ち、環境に配慮し、環境保全行動や活動を進めていくための「道しるべ」としての役割を果たしています。



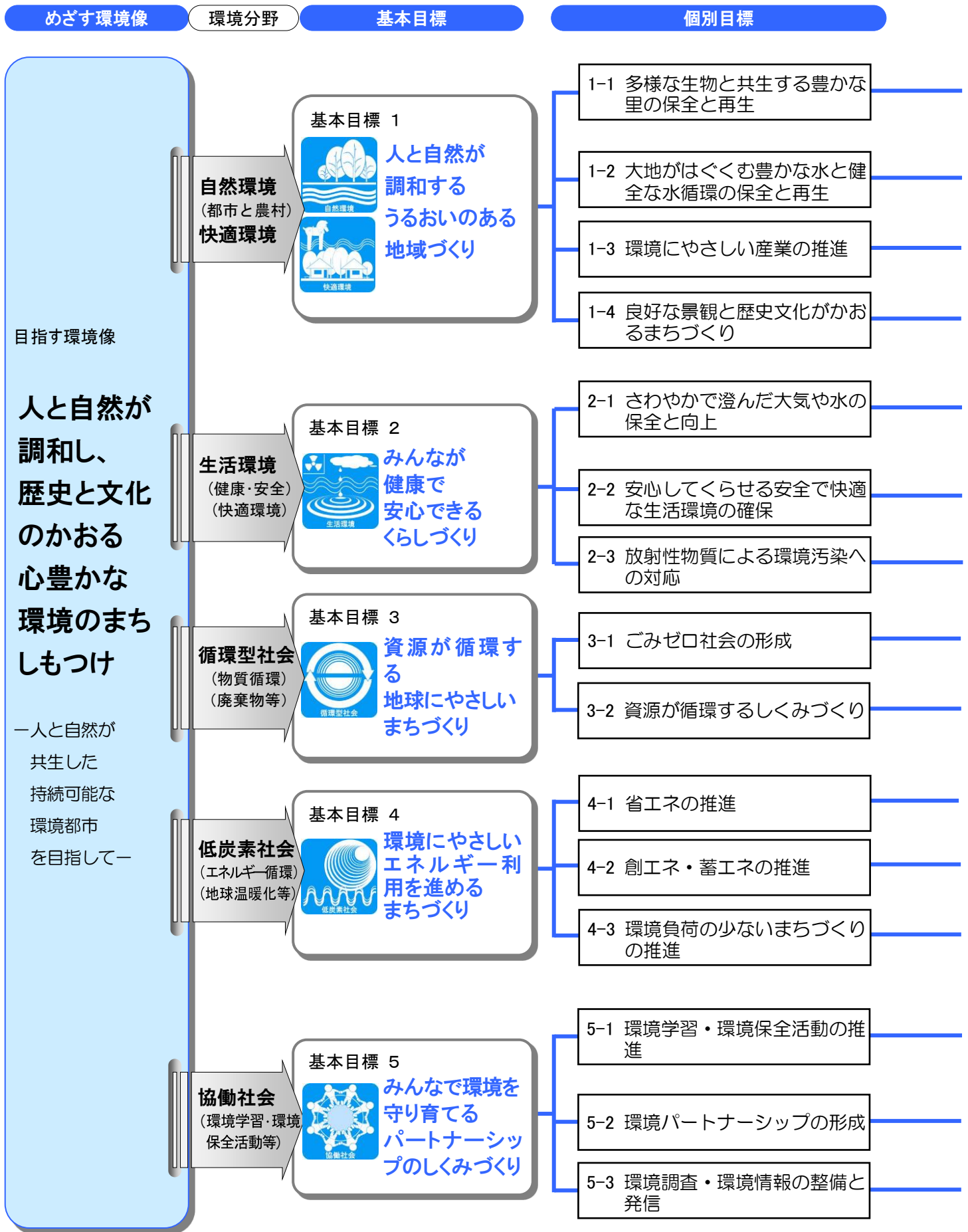
2 計画期間

基本計画の期間は、平成 25 (2013) 年度から平成 34 (2022) 年度までの概ね 10 年間を設定しています。また、計画に掲げられた重点的取組や施策、事業内容などについては、総合計画やその実施計画の見直しと連携して、点検・見直しを行います。

なお、計画策定後の社会情勢や環境の変化に対応していくほか、総合計画との連携を図っていくために、本計画期間の中間年である平成 29 (2017) 年度に計画の中間見直し (改訂) を行いました。



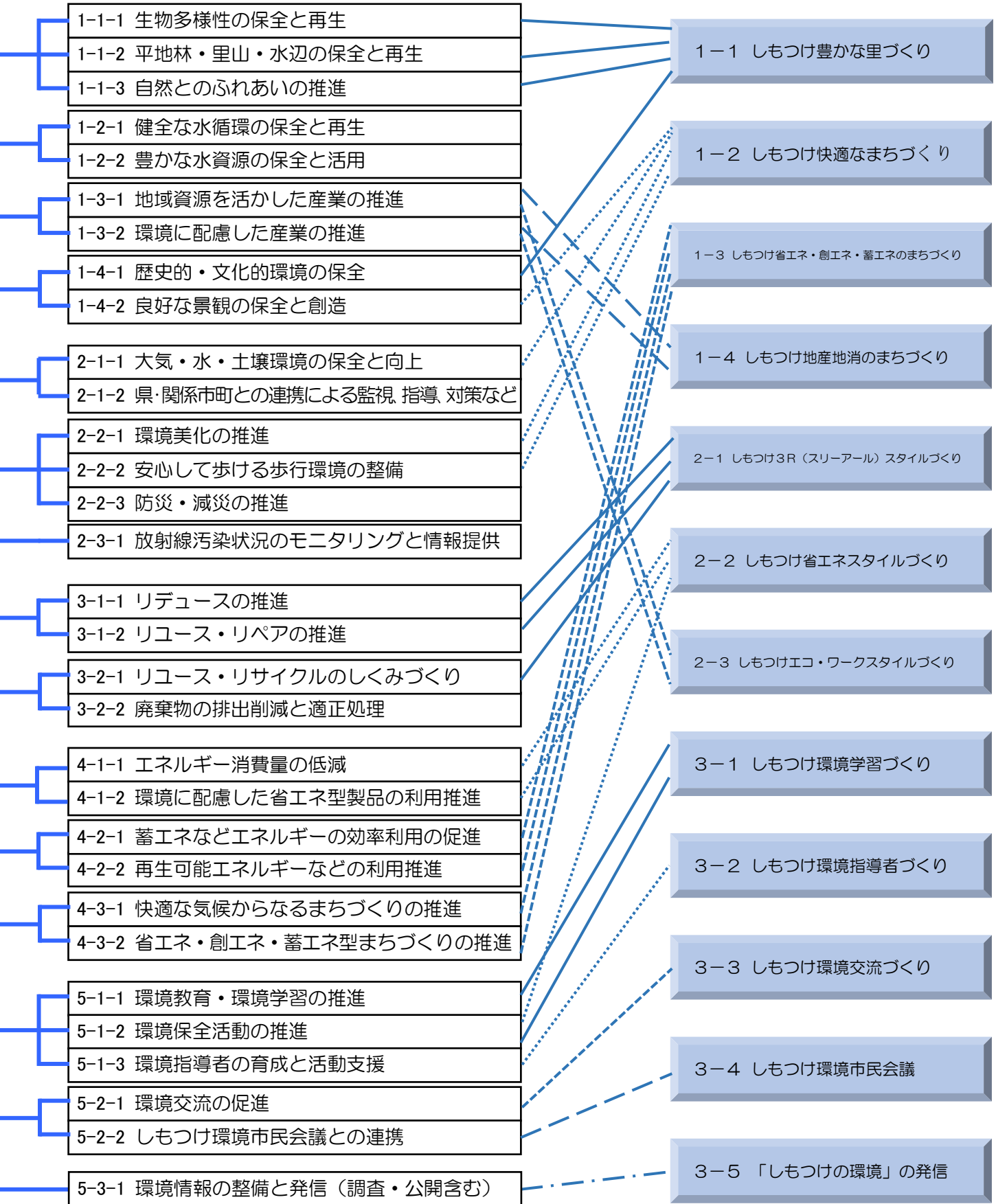
3 取組（施策）の体系



取組(施策)の方向

協働の取組(協働プロジェクト)

(市及び市民等が連携した取組)



4 取組の状況 ※平成29年度実績は改訂前の計画に基づいた取組です。

個別目標1-1 多様な生物と共生する豊かな里の保全と再生

1-1-1 生物多様性の保全と再生

環境指標	水辺や田んぼの生きもの					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29
取組のめやす	水辺や田んぼの生物多様性を向上し、在来生物が生息する環境の保全と再生を進めています。					
重点的に進めていく協働の取組内容						
★生物生息状況の調査(水辺の生きもの調査を含む)				※★は市の重点的施策		
○田んぼの生物多様性の向上						

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

トウサワトラノオの保護とその生育環境を守る活動(年3回程度、草刈り及び枯れ草の搬出等)を行いました。また、雑草対策としてかんがい期(5月～8月)の保全地への湛水の水管理や、必要に応じて除草剤の散布を行いました。

【下野市トウサワトラノオ保存会(南河内土地改良区、東根自治会、小山北桜高校、吉田西小学校、下野市自然に親しむ会、下都賀農業振興事務所)延べ150名参加】

トウサワトラノオの観察と学習会を実施しました。

- ・小山北桜高等学校によるトウサワトラノオの観察研究及び結果発表
- ・吉田西小学校の生徒がトウサワトラノオを実生から育て、校庭にあるビオトープに移植し観察を行いました。
- ・開花後の保存会総会時に終了後の昼食と合わせて「花を見る会」を開催しました。

農村環境保全会による生き物調査を実施しました。

【平成29年6月～11月 7団体 350名参加】

トウサワトラノオ

※環境省における絶滅危惧種、最高ランクの「絶滅危惧1類」に指定されており、現在は下野市のみ生息しています。サクラソウ科の多年草植物で、開花時期の5月頃には、白く可憐な花を見ることができます。名前の由来は、中国で多く生息することから、同国を意味する「唐(トウ)」と湿地を表す「サワ」、さらに花の咲き方が「虎の尾」に似ており、この名が名付けられたとされています。



トウサワトラノオ学習会

◆市の取組

水生生物の生息環境の保全を目的とした河川公園の樹木剪定を実施しました。

有害鳥獣対策として捕獲檻の貸し出しを行いました。【貸出件数8件】

○平成30年度の実施内容

トウサワトラノオの保護とその生育環境を守る活動(保全地の草刈り及び枯草の搬出作業、保全地への湛水の水管理、除草剤の散布など)を実施する予定です。

5月下旬の総会後に学習会を実施します。

農村環境保全会による生き物調査(用排水路)を実施します。

1-1-2 平地林・里山・水辺の保全と再生

環境指標	市民等による平地林(重点地点)の管理						
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29	単位
取組のめやす	—	重点地点8地点(H34) H27以降、年1地点ごとに管理を実施		1	2	3	件
重点地点数	—	2	2	2	4	4	件
達成率	—	—	—	200.0	200.0	133.3	%
その他の指標				計画策定時	取組のめやす	取組状況(H29)	
平地林の実態調査				—	H27までに実施	実施済	
平地林マップ作成と活用				—	H27までに作成	作成済	
重点的に進めていく協働の取組内容							
★水辺環境の実態調査 ※★は市の重点的施策 ★平地林の実態調査、平地林マップづくりと活用 ★平地林の保全・整備 ○河川などの生物の生息学習会 ○県南「エコもり地域推進協議会」との連携による保全活動の展開							

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

平地林の実態調査を実施し、現況から森林計画や森林伐採届等を整理しました。

天平の丘公園のボランティア清掃、県の補助事業を活用し地蔵山、児山城跡の森林や上台の通学路にある森林の草刈りなど、平地林の保安全管理を実施しました。

◆市の取組

地域森林計画の対象森林台帳より森林の位置を確認し、森林マップを作成しました。

消費者まつりで木工教室を開催しました。

【平成30年1月21日 72名参加】

市内小学校において木工教室を開催しました。

【平成30年1月～2月開催 60キット配布】



消費者まつり・木工教室

○平成30年度の主な実施内容

天平の丘公園の管理を含め県の補助事業を活用した地蔵山、児山城跡及び上台の通学路の保安全管理を実施します。

地域森林計画の対象森林台帳により、森林マップを作成します。森林伐採届出による実態調査を実施します。

平地林マップの活用方法を市民の求めに応じて随時検討していきます。

1-1-3 自然とのふれあいの推進

環境指標	学校林・学校田畑の整備						
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29	単位
取組のめやす	—	16(H34)					校
整備校数	12(H24)	12	12	12	12	12	校
達成率	—	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	%
重点的に進めていく協働の取組内容							
○学校林・学校田畑の整備と自然学習の場としての活用							
○自然とのふれあいの場づくり							

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

各学校の授業や総合的な学習の時間を使って自然観察学習を実施しました。

親子の交流を目的として自然観察会「親子で体験!」、農業体験「わくわく親子体験」を開催しました。市民の自然環境への意識が高いこともあり、多くの受講希望者がありました。

- ・「親子で体験!」南河内公民館 7月、11月開催 延べ43名参加
- ・「わくわく親子体験」石橋公民館 5月、7月、9月開催 延べ84名参加



自然観察会「親子で体験!」



農業体験「わくわく親子体験」

◆市の取組

参加者を一般公募で募集し、田植え、稲刈り、さつまいも掘り体験を実施しました。

- ・田植え体験 67名(19組)参加
- ・稲刈り体験 45名(12組)参加
- ・さつまいも掘り体験 25名(11組)参加

アグリ体験補助事業に取り組む小学校、認可保育園に事業費の一部を補助しました。

【小学校11校 保育園5園】

○平成30年度の実施内容

市内小中学校で学校環境緑化、草花栽培活動を行います。

個別目標 1-2 大地がはぐくむ豊かな水と健全な水循環の保全と再生

1-2-1 健全な水循環の保全と再生

1-2-2 豊かな水資源の保全と活用

○平成29年度の取組状況

◆市の取組

市内全小学校の4年生を対象にした水道施設見学会を実施しました。

【5月～7月実施 小学4年生513名、教師33名参加】

リクエスト講座にて、下野の水の現状について説明しました。【6月23日実施】

下野のおいしい水「夕顔のしずく」を道の駅しもつけで販売し、情報を発信しました。

「しもつけ水道ニュース」を公民館、図書館、公共施設等に自由に持ち帰れるよう設置し、また、市のホームページに掲載しました。



「夕顔のしずく、下野のおいしい水」

水道水源の定期的な水質検査を実施しました。

配水施設6箇所

- ・9項目【一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、有機物（全有機炭素量 TOC）、pH 値、味、臭気、色度、濁度】の検査を毎月実施
- ・他27項目の検査を四半期ごとに実施
- ・他51項目の検査を年1回実施

新庁舎整備にあたって雨水貯留槽を整備し、トイレなど雑排水への雨水の有効活用を進めました。

水源井戸からの水道事業認可を得ている揚水施設より水の汲上を行いました。

○平成30年度の実施内容

リクエスト講座や水道施設見学会、しもつけ水道ニュースなど、「下野市の水」についての普及啓発活動を実施します。

道路側溝・浸透柵の清掃を行い、雨水処理の維持管理を実施します。

水質汚濁防止法及び県条例に基づき、流出事故などへの対応、指定揚水施設届出受付業務を実施します。

水道水源の水質検査を継続します。

個別目標 1-3 環境にやさしい産業の推進

1-3-1 地域資源を活かした産業の推進

環境指標	食育の推進 ※取組 5-1-1 環境教育・環境学習の推進の指標を兼ねる					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29
取組のめやす	家庭や学校、地域での食育や地元食材の体験学習が進められ、食と農と環境が調和したまちづくりが進められています。					
その他の指標				計画策定時	取組のめやす	取組状況(H29)
学校給食への安全・安心な下野市産農畜産物や加工品の活用				推進中	推進	推進中
重点的に進めていく協働の取組内容						
★学校と家庭、地域が連携した食育の推進				※★は市の重点的施策		
○学校にクリ、柿などの果樹を植栽(栽培から収穫・味覚までの体験)						
○他の地域との比較による食料自給に関する授業						

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

学校農園や地域の田畑を借用し、実際に児童が野菜の栽培や田植えから収穫、調理までを体験しました。食育だよりを2回発行しました。特に小学校では総合的な学習の時間を利用して授業の一環とする等、各学校で食育が推進されました。



農業体験（田植え）

道の駅しもつけの月別野菜売上を基に、消費者にとって利用しやすい旬の野菜レシピを作成し、紹介、配布を行いました。

【市庁舎や道の駅など市内21施設でレシピを配布 年8回実施】

【健康増進課による健康教室など全94回の教室等でレシピを配布】

【市ホームページによるレシピ配布 全8回掲載】

昨年度に引き続き各施設、各種健康教室でレシピを配布することで、様々な年代の人が食べやすい献立の工夫を取り入れ、地産地消を推進することができました。

◆市の取組

地産地消推進計画、食育推進計画を市のホームページに掲載し、食育活動の周知を図りました。

○平成30年度の実施内容

各学校で栽培・収穫体験などを通じた食育の推進を図ります。

食育だよりの発行を継続します。

各施設や各種健康教室などでレシピ配布による継続した地産地消の推進を図ります。

環境指標	地産地消のブランドづくり					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29
取組のめやす	下野市産農畜産物や加工品の地産地消が進められ、安全・安心な食材としてのブランド化をめざして、生産が進められています。					
重点的に進めていく協働の取組内容						
★地産地消のブランドづくり				※★は市の重点的施策		
★下野市産農畜産物・加工品の活用、学校給食への安全・安心な下野市産農畜産物の活用						

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

下野市を代表する特産品の加工品1点(伊澤いちご園のジェラート)、農産物1点(シャインマスカット)、合計2点を下野ブランドに新規認定しました。

【下野ブランド認定数 合計34点】



伊澤いちご園のジェラート



シャインマスカット

下野ブランドを市内外にPRするため、平成29年10月1日に道の駅しもつけ会場に「しもつけBrandフェア」を開催し、約1,000名の来場者で賑わいました。「しもつけBrandフェア」ではPR活動を積極的に実施し、地域産業の振興とともに下野ブランドの知名度やイメージアップを図ることができました。



しもつけBrandフェア

市内学校給食用に各学校で購入した地元農畜産物の費用に対し、児童生徒一人当たり300円を賄材料費として助成し、地元農畜産物の良さを児童生徒や保護者にPRしました。

◆市の取組

学士会館シェフとともに、下野市特産物であるかぴょうを使った新メニュー7点の開発を行いました。

○平成30年度の主な実施内容

新たな下野ブランドの発掘及び認定審査会の実施、下野ブランドの周知を図るためのイベント「しもつけBrandフェア」の開催を予定しています。

学校給食への下野市産農畜産物購入費用を助成します。

農業者による新メニュー開発等を支援します。

1-3-2 環境に配慮した産業の推進

環境指標	エコ(ショップ&オフィス)の普及(登録数)					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29
取組のめやす	—	増加	増加	増加	増加	増加
エコショップ登録数	15(H24)	14	14	14	14	14
エコオフィス登録数	54(H24)	82	84	84	80	75
達成状況	—	増加	増加	現状維持	減少	減少
その他の指標				計画策定時	取組のめやす	取組状況(H29)
環境配慮の推進				—	—	—
認定農業者経営面積(1人当たり)㎡				52,020(H23)	58,000(H27)	61,523
エコポイント制度				—	—	—
重点的に進めていく協働の取組内容						
★エコ(ショップ&オフィス)の普及(登録数) ※★は市の重点的施策 ○自然環境や快適環境などの保全・再生・創出の推進 ○公害の未然防止、生活環境保全対策の推進 ○省資源・省エネ対策の推進 ○市及び市民等の環境配慮行動、環境保全活動などへの協力 ○環境関連産業の育成推進 ○エコファーマー、エコプロダクツなどの普及						

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

積極的にエコな取組を実施するエコショップ&オフィスの登録者を募集し、環境にやさしい取組の普及を図るため、登録事業者の一覧や取組状況をホームページで発信しました。登録事業者は事業所の廃止などにより減少している状況です。

農業者の経営状況などを確認し認定農業者の新規認定や再認定を行いました。また、認定農業者に対して耕作が困難になった農地のあっせん情報や生産拡大や環境に配慮した取り組みに対して助成事業を行いました。

【認定農業者数 291名】

◆市の取組

エコファーマーの認定者や特別栽培農産物に取組む農業者を支援するために、環境保全型農業直接支払交付金を2団体に交付しました。

○平成30年度の実施内容

広報やホームページなどでエコショップ&エコオフィス制度の周知啓発を実施し、新規登録事業者の参加を促進します。

広報やホームページを通じて周知を図り、地域農業の担い手としての認定農業者の増加を進めます。

環境保全型農業に取り組む事業者へ補助金を交付します。

個別目標 1 - 4 良好な景観と歴史文化がかおるまちづくり

1 - 4 - 1 歴史的・文化的環境の保全

環境指標	国指定史跡の公有化率						
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29	単位
取組のめやす	—	62.0(H27)					%
公有化率	60.7(H23)	60.7	60.7	63.8	65.5	65.5	%
達成率	—	97.9	97.9	102.9	105.6(参考値)	105.6(参考値)	%

重点的に進めていく協働の取組内容

- 文化財保存会によるイベントなどの企画・実施
- 歴史的景観を生かした植物の再生
- 史跡地の除草活動

○平成29年度取組の状況

◆協働の取組

国史跡が学区内にある小学校で除草作業及び体験学習を実施しました。

- ・下野国分寺跡清掃作業（落ち葉さらい）平成29年11月29日（水）

国分寺西小・国分寺小 児童合計124名

- ・下野薬師寺跡（紅花畑）の除草作業・体験学習 平成29年6月15日（木）、6月22日（木）、10月26日（木） 薬師寺小 児童340名

史跡の除草清掃作業を通して、郷土の歴史についての学習の機会を提供することができました。



史跡の清掃作業（下野国分寺跡）



史跡まつり

◆市の取組

市役所窓口やグリムの館、薬師寺歴史館などで下野市ふるさとかるたや、下野市の伝説～ふるさとめぐりの旅～の販売を行い、市内に古くから語り伝えられた伝説や民話、暮らしの知恵を発信しました。

○平成30年度の主な実施内容

ボランティアとの共催による下野薬師寺史跡まつり、灯明の会を開催します。

国史跡が区域内にある小学校での除草作業及び体験学習を実施します。

国指定史跡下野薬師寺跡、県指定史跡児山城跡の発掘調査を実施します。

1-4-2 良好な景観の保全と創造

環境指標	しもつけの景観選定					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29
取組のめやす	—	—	—	選定・発信	—	—
達成状況	—	未選定	未選定	未選定	未選定	未選定
その他の指標				計画策定時	取組のめやす	取組状況(H29)
しもつけ景観マップの作成				—	H27までに作成・発信	未作成
重点的に進めていく協働の取組内容						
<ul style="list-style-type: none"> ○景観マップづくり、しもつけ景観20 選 ○耕作放棄地の解消と環境保全機能の向上 						

○平成29年度取組の状況

◆協働の取組

下野ブランドとして認定されている自然部門2点と観光部門4点、歴史文化部門に史跡地等5点を下野ブランドのパンフレットに掲載しました。

下野ブランドを市内外へPRするため、平成29年10月1日に道の駅しもつけを会場に「しもつけBrandフェア」を開催しました。

市内の魅力的な景観や自然環境の素晴らしさをPRするため、下野市観光協会主催によりフォトコンテストを開催しました。

農村環境保全会による植栽を実施し、景観の形成を図りました。

【平成29年6月～9月 6地区で実施】

◆市の取組

希望者から空き地の雑草等除去を受託し、除草作業を実施しました。

自治医科大学周辺地区などの地区計画により「建築物の用途の制限」「敷地面積の最低限度」「壁面の位置の制限」「形態又は意匠の制限」を定め、建築物指導基準による規制と誘導を進めました。

○平成30年度の主な実施内容

新たな下野ブランドのパンフレットの作成、下野ブランドの周知を図るためのイベント「しもつけBrandフェア」の開催を予定しています。

市内の魅力的な景観や自然環境の素晴らしさをPRするため、下野市観光協会主催によりフォトコンテストを開催する予定です。

農村環境保全会において、地域資源である農地、水路、農道などの軽微な補修により質的向上を図る共同活動や、植栽による景観の形成を図ります。

個別目標 2-1 さわやかで澄んだ大気や水の保全と向上

2-1-1 大気・水・土壌環境の保全と向上

環境指標		水質環境基準(BOD) ※取組 2-1-2 県・関係市町との連携による監視、指導、対策などの指標を兼ねる					
		計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29
取組のめやす	全調査地点での基準達成と維持・向上						
達成状況	基準達成(H22)	達成	達成	達成	達成	達成	一部未達成
その他の指標					計画策定時	取組のめやす	取組状況(H29)
大気環境基準(Oxを除く)					達成(H22)	維持・向上	達成
地下水汚染環境基準					超過地点有(H22)	全地点達成	超過地点有
下水道普及率					71.5%(H23)	73.9%(H27)	76.8%
生活排水処理率					86%(H22)	90%以上(H33)	94.7%
重点的に進めていく協働の取組内容							
大気環境、水環境、土壌・地下水環境の監視と汚染防止							

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

違法な野焼きや水質汚濁公害について、市民等からの通報やパトロールにより発生状況を把握し、随時職員による対応を実施しました。【野焼き苦情件数13件】

公害苦情受付件数の推移

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
大気	13	38	17	20	15
水質	2	4	0	4	1
騒音	4	9	1	3	2
振動	2	2	6	0	0
悪臭	25	3	6	1	6
土壌	1	4	1	1	0
その他	67	49	41	54	51
合計	114	109	72	83	75

※その他・・・空き地の雑草繁茂、空き家の管理、虫の発生など



違法な野外焼却の状況

※ 写真の野焼き行為は、環境課から行為者への指導後、速やかに消火されました。

水質汚濁公害対策として工業団地排水の水質調査を実施しました。一部測定地点でBOD※の基準超過が見られました。今後、水質の状況を注視し原因の特定と水質汚濁の防止に努めます。

※BOD（生物化学的酸素要求量）・・・水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素の量で、河川等の汚濁を示す代表的な指標

工業団地調整池等の水質調査結果（各年7月調査）

単位：mg/l (pHを除く)

測定項目 (排水基準)		pH (5.8~8.6)	BOD (25)	SS (50)	窒素含有量 (120)	リン含有量 (16)	亜鉛含有量 (2)
測定地点							
下坪山工業団地調整池	平成29年度	7.4	5.8	7	4.3	0.1未満	0.1未満
	平成28年度	7.4	10	7	27	0.6	0.2
西坪山工業団地調整池	平成29年度	6.6	76	16	4.3	2.3	0.1未満
	平成28年度	7.3	18	2	8.5	2.5	0.1未満
柴工業団地調整池	平成29年度	7.5	1.7	1	16	1.3	0.1未満
	平成28年度	8.0	4.6	14	6.1	0.7	0.1未満
石橋第3工業団地 排水落ち口	平成29年度	7.5	8.8	7	7.8	0.8	0.1未満
	平成28年度	7.6	8.7	12	5.8	0.6	0.1未満

下水道未整備区域への公共下水道の整備

9.09ha（整備済延べ面積1,055.02ha）

下水道未整備区域における浄化槽設置支援 浄化槽設置費補助金 16件

◆市の取組

騒音・振動、悪臭など生活公害の市民からの苦情に対し、「騒音規制法」「栃木県生活環境の保全等に関する条例」に基づき、職員による行為者への指導等対応を実施しました。

市内の環境騒音測定を実施しました。

- ・自動車騒音測定 2か所 測定期間11月～3月（北関東自動車道、鹿沼下野線）
- ・一般環境騒音測定 3か所 測定期間3月（旧国分寺庁舎、石橋公民館、柴公園、ウサギ公園）
- ・新幹線鉄道騒音測定 2か所 測定期間12月（小金井、薬師寺）

畜産業における悪臭防止対策を目的とした消臭剤等購入時一部補助を実施しました。【消臭剤購入費用の一部補助 27戸】

光化学スモッグ発生時、県から注意報等が発令された場合は関係各課に連絡し学校や体育施設などに注意喚起しました。

【注意報発令月5～8月 光化学スモッグ注意報発令件数5件】

下水道施設のイベント来場者に対し、施設案内やPR用品の配布等を行い、下水道の啓蒙啓発を行いました。【県央浄化センター施設公開 Day 来場者数 487名】

○平成30年度の主な実施内容

公害への早期対応、見回りの強化により公害防止に努めます。また、引き続き水質や騒音の測定を実施し、公害発生状況を監視します。

市産業祭や県央浄化センター施設公開 Day などのイベントで下水道の啓蒙啓発を行います。

公用車導入時にはハイブリッド車など環境負荷の少ない自動車の調達に努めます。道路の整備・修繕を行い円滑な交通の流れの維持と道路騒音の低下を図ります。

個別目標 2-2 安心してくらすせる安全で快適な生活環境の確保

2-2-1 環境美化の推進

環境指標	家の周辺や道路の清潔さ(満足度)					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29
取組のめやす	60.3% (H23アンケート結果)	満足とやや満足の割合が向上しています。				
その他の指標				計画策定時	取組のめやす	取組状況(H29)
近くの林や水辺の清潔さ(満足度)				38.3% (H23アンケート結果)	満足とやや満足の割合の向上	—
重点的に進めていく協働の取組内容						
★クリーン作戦など環境美化の推進				※★は市の重点的施策		
○ごみの不法投棄防止・監視、ポイ捨ての防止						
○空地・空家の監視と保全						

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

5月28日を中心とした県の環境美化運動に合わせて、市内全域における自治会と事業者による空き缶等の清掃活動を実施しました。参加者数は前年度実績を上回り、地域の皆様の協力により清潔な生活環境が保たれました。

【実施自治会 103自治会 参加者 6,644名】【実施企業 34社 参加者 861名】

11月18日(土)に姿川クリーン作戦を実施しました。

地域参加型のイベントとして、環境美化に対する機運を高める契機となっています。

【参加人数283名 ゴミ回収量440kg】



姿川クリーン作戦参加者による清掃活動

空地の所有者へ空地管理の啓発を行い、希望者を対象に雑草等除去受託事業を実施しました。近隣苦情からの受委託がほとんどであり、空地の適正管理に効果を上げています。【雑草等除去受託面積 5,294㎡】



道路まで伸びた空地の雑草

◆市の取組

安全で快適な道路環境の維持向上を図り、道を愛する心を育むため、地域住民等のボランティア団体と道路管理者（市）が連携・協力して道路美化活動を行う「愛ロードしもつけ」を実施しました。

【登録数44団体、年間6回以上、延べ266回の活動】

道路の緑地帯、空地等に草花の苗、宿根の植付け、花木の苗を植栽し、花と緑のある道路環境の美化を図り、自然環境の保全、道路愛護思想を波及させるため、道路の「花いっぱい事業」を実施しました。

【7団体、総延長612m、参加人数397名】



花いっぱい事業による植栽

小学生による道路愛護活動として、学校周辺の道路の美化活動及び緑地帯の花植栽活動を実施しました。【12小学校 総延長12,030m 参加人数2,773名】

街路等を利用した緑や花づくり、緑地や並木の育成保護活動をする緑化ボランティア団体に費用の一部を交付しました。【交付団体 7団体】

緑の少年団として県に登録し、緑化活動を推進している学校に対し、緑化活動の費用の一部を交付しました。【交付実績 3校（吉田東小・国分寺西小・石橋小）】

廃棄物監視員11名による巡回パトロールや投棄物の回収を実施しました。

○平成30年度の主な実施内容

県の環境美化運動を実施します。【自治会 約150団体 企業 約100社】

姿川クリーン作戦を実施します。【11月実施予定】

雑草等除去受託事業を実施します。【20名 約10,000㎡】

廃棄物監視員によるパトロールを実施します。

2-2-2 安心して歩ける歩行環境の整備

環境指標	歩道などの歩きやすさ(満足度)					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29
取組のめやす	47.2% (H23アンケート結果)	満足とやや満足の割合が向上しています。				
その他の指標				計画策定時	取組のめやす	取組状況(H29)
路上喫煙の防止				—	条例の制定	未制定
重点的に進めていく協働の取組内容						
★歩行、自転車利用の安全確保				※★は市の重点的施策		
○路上喫煙の防止(条例化検討)						

○平成29年度の取組状況

◆市の取組

駅周辺の放置自転車を予防するため、自転車駐車場の設置運営を行い、放置禁止区域に放置された自転車の撤去、管理を行いました。

【自転車駐車場利用者数407, 279件】【放置自転車撤去台数 191台】

子どもたちの通学路の安全確保を図るため、下野市通学路安全推進会議を開催し、危険箇所の合同点検や学校からの通学路整備要望箇所について検討及び整備等の対応を行いました。【会議開催日10月18日、2月14日 平成29年度の要望件数40件のうち対策済み14件、継続審議23件、法令上対策不可3件】

通学路の舗装のカラー化、区画線設置を実施しました。

【舗装のカラー化1, 411m 区画線設置3, 836m】

街路灯の維持修繕を行いました。【修繕件数 95か所】

駅周辺の路上喫煙禁止標識について、剥がれなど破損状況を調査しました。

駅周辺の灰皿を歩行者の少ない場所へ移動しました。

○平成30年度の実施内容

路上喫煙の防止について、情報収集と庁内関係機関との協議を継続します。

駅周辺の路上喫煙禁止標識の修繕を実施します。

歩行者等の利便性向上のため、駅周辺のバリアフリーに関する整備計画の推進を図ります。

駅周辺の放置自転車対策を実施します。

2-2-3 防災・減災の推進

○平成29年度の取組状況

◆市の取組

石橋公民館講座「みんなで防災！」を開催し、下野市の防災の取組や災害発生時の初動態勢などについて説明しました。【平成29年7月1日（土）開催 18名受講】

栃木県地域防災計画の改正に合わせ、下野市地域防災計画を修正し、洪水ハザードマップ・防災ガイドブックについて改訂を実施しました。

消防団及び消防署と合同の点検・訓練を実施し、消火活動・水防活動等で必要な知識や技術の習得と連携強化を図りました。

総合防災訓練として各防災機関の訓練参加や住民・市職員参加の避難訓練を実施しました。

【下野市消防団夏季点検、中継送水訓練及び水防訓練 平成29年7月23日（日）】

【下野市消防団通常点検 平成29年11月12日（日）】

【下野市総合防災訓練 平成30年2月10日（土）】



下野市消防団通常点検

災害発生時の安否確認や避難誘導等、緊急時の支援が迅速かつ的確に行えるよう、民生委員の普段の見守りを通じて、支援が必要な方の把握と名簿の作成に取り組みました。【名簿登録総数 4,418名】

県の主催する「災害時の廃棄物処理に係る初動対応訓練」に参加しました。

○平成30年度の実施内容

洪水ハザードマップ改訂版・防災ガイドブック改訂版の各戸配布を行います。

防災の取組や災害発生時の初動態勢などについて説明するため、公民館講座を開催します。

下野市空家対策協議会において「空家等対策の推進に関する特別措置法」のもと、特定空家の認定基準の作成や空家等への措置を協議します。

下野市避難行動要支援者対応マニュアルに基づき、要支援者名簿を更新します。

個別目標 2-3 放射性物質による環境汚染への対応

2-3-1 放射線汚染状況のモニタリングと情報提供

環境指標	—
重点的に進めていく協働の取組内容	
○ 放射線及び放射線汚染状況に関する勉強会	

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

放射線測定モニタリングを「道の駅しもつけ」において毎日実施しました。
各放射線の状況について市のホームページを通じて情報提供を行いました。

◆市の取組

市内の各庁舎や学校などの公共施設について、月に1回の空間放射線量測定を行いました。

【測定場所 旧国分寺庁舎、南河内図書館南側、旧石橋庁舎 市内公立保育園、市内小中学校】

下野市産農産物のモニタリング検査を下都賀農業振興事務所協力のもとに実施しました。【検査品目数 45品目】

放射線量は基準値内を維持しており、数値は安定している状況です。

市庁舎、石橋窓口、南河内窓口に空間放射線量簡易測定器を配置し、市民への貸出を行いました。【貸出件数 3件】

○平成30年度の実施内容

県のモニタリングを含め、各公共施設等や農産物等の測定結果などの情報提供を実施します。

毎月1回、市内の小中学校1校と国分寺学校給食センターの食材をそれぞれ1品ずつ、放射能測定を実施し、検査結果をホームページで公表します。

環境指標	市民1人1日当たりごみ排出量(資源物、事業系ごみを含む)						
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29	単位
目標値	—	721(H27) 715(H28) 698(H33)					g/人・日
実績値	739(H22)	716	704	728	719	717	g/人・日
達成率	—	100.7	102.4	99.0	99.4	97.3	%
その他の指標					計画策定時	取組のめやす	取組状況(H29)
家庭系ごみ(単位g/人・日)(資源物を除く排出量)					658g	625g(H33)	622g
事業系ごみ(単位t/年)(資源物を含む排出量)					1,754t	1,579t(H33)	2,079t
重点的に進めていく協働の取組内容							
★マイバッグの推進(レジ袋削減など) ※★は市の重点的施策 ★生ごみの減量化 ○容器包装類や使い捨て容器の削減 ○エコクッキングの推進							

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

レジ袋削減に向けた協議を実施するためレジ袋削減推進協議会を11月7日に発足しました。協議会参加事業所店頭において、マイバッグキャンペーンを展開しました。【マイバッグキャンペーン実施日 2月6日～2月23日】

生ごみ処理機購入者に対して助成事業を実施しました。助成件数は前年実績(27件)より減少しました。ごみ減量化を目指し、制度の周知を図ります。

【助成実績 25件】

環境フェアなどのイベント時において、エコバックや生ごみの水切りネットを配布し、ごみ削減の意識啓発を図りました。

◆市の取組

ごみの削減を目的として、広報紙やホームページ、ごみの分別アプリ「さんあーる」を使い、ごみに関するルールの周知、ごみ減量化についての啓発を行いました。

市民一人当たりのごみ排出量は、717g(平成29年度)であり、前年度の719gと比べて減少していますが、燃やせるごみの量は増加傾向にあります。また、ごみ処理にかかる経費は一人当たり10,449円(平成29年度)であり、前年度の9,154円と比べて増加しています。ごみ減量化のため、3Rの推進、ごみの分別の徹底にご協力をお願いします。

○平成30年度の主な実施内容

ごみの減量化を図るため、家庭用生ごみ処理器購入補助を継続します。

レジ袋削減推進協議会によるマイバッグキャンペーンを実施します。

ごみの分別に関する普及啓発活動を行います。

3-1-2 リユース・リペアの推進

環境指標	フリーマーケットの開催					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29
取組のめやす	身近にフリーマーケットが開催されるなどリユースが進められています。					
重点的に進めていく協働の取組内容						
<ul style="list-style-type: none"> ○ リユース容器の活用推進 ○ フリーマーケットの普及 ○ リペアセンターづくり 						

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

広報及びホームページに不用品情報を掲載し、不用となった物の再利用を促進するリサイクル事業を実施しました。譲渡成立件数は前年度実績（33件）を下回りましたが、ごみ削減に効果がありました。【譲渡成立件数28件】

◆市の取組

天平の芋煮会【平成29年11月5日（日）】開催時に、リユース食器を使用した際の食器レンタル費用に対し補助金を交付しました。

（リユース食器利用促進事業）

○平成30年度の実施内容

不用品リサイクル事業を継続し、リユースの普及を図ります。
リユース食器利用の促進を図ります。



天平の芋煮会で販売された芋煮
（皿と箸にリユース食器を使用）

個別目標 3-2 資源が循環するしくみづくり

3-2-1 リユース・リサイクルのしくみづくり

環境指標	最終処分率						
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29	単位
目標値	—	9以下(H28) 8以下(H33)					%
実績値	10.1(H22)	10.2	10.6	9.5	6.3	6.5	%
達成率	—	88.2	84.9	94.7	142.9	123.1	%
その他の指標					計画策定時	取組のめやす	取組状況(H29)
資源化率					24.4%(H22)	33%(H33)	19.5%
重点的に進めていく協働の取組内容							
★分別の徹底 ※★は市の重点的施策 ○資源物の集団回収の推進 ○店頭回収の推進 ○リサイクルセンターの整備と活用、リサイクルの推進							

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

平成29年6月1日よりスマートホン向けごみ分別アプリによる発信を開始し、適正なごみの分別や、ごみの出し方について周知を図りました。

【平成29年度ダウンロード数962件】

平成30年1月より市庁舎など公共施設における廃食用油の拠点回収を開始しました。回収した油は業者に引き渡しリサイクル工程を経て、飼料（豚、鳥用）、石鹼、塗料等に再生されます。

- ・回収場所 市庁舎、石橋公民館、南河内公民館、生涯学習情報センター
- ・回収量 109kg

◆市の取組

資源物の集団回収実施団体に対して報奨金を交付しました。

【集団回収登録団体数65団体】

※資源物の種類 びん、ダンボール、新聞、雑誌、古布、アルミ、鉄など

ごみから資源物へ再生することを目的に、分別排出について行政カレンダーや広報紙等により情報提供を実施しました。

○平成30年度の実施内容

資源の集団回収実施団体への報奨金の交付を行います。

分別の徹底を推進するために広報紙、ごみ分別アプリ等による普及啓発活動を行います。

個別目標 4-1 省エネの推進

4-1-1 エネルギー消費量の低減

環境指標	省エネ行動の普及					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29
取組のめやす	家庭でのエネルギー消費量の低減が進められています。 省エネに係る取組で「いつもおこなっている」割合が全項目で向上しています。					
重点的に進めていく協働の取組内容						
★節電の推進、ガス・灯油の使用量の低減など ※★は市の重点的施策 ★移動のエコ化(徒歩や自転車活用、公共交通機関利用の促進) ○クール&ウォームビズの推進、自然採光・採風・太陽熱利用など ○エコドライブの推進、自家用車利用の自粛						

環境指標	エコライフデーの開催 ※取組 5-1-2 環境保全活動の推進の指標を兼ねる					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29
取組のめやす	エコライフデーが設定(年1回以上)され、節電や省エネに関するエコイベントが開催されています。					
重点的に進めていく協働の取組内容						
○エコライフデーの検討・実施						

環境指標	エネルギー使用状況チェックの普及、環境家計簿などの普及					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29
取組のめやす	環境家計簿などによりエネルギー使用状況をチェックし、省エネに活かしている家庭が増えています。					
重点的に進めていく協働の取組内容						
★環境家計簿によるエネルギー消費量の把握とチェックの普及 ※★は市の重点的施策 ○省エネナビなど、電力エネルギー消費量表示機器の活用促進						

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

しもつけ環境フェアにおいて、環境家計簿様式を配布し、省エネ行動の普及を促しました。【平成30年2月25日(日)開催】

◆市の取組

第8回消費者まつりにおいて、省エネ相談やエコ製品の展示を実施し、多くの来場者に対して省エネ意識の啓発に取組みました。

【平成30年1月21日(日)開催】

新庁舎整備にあたり電力管理システムを導入し、エネルギー使用の効率化、電力需要の抑制と節電、電力消費量の削減に努めました。

第二次下野市役所地球温暖化対策実行計画を策定し、省エネ対策の推進とCO2排出量の削減を進め、市の事務事業におけるエネルギー消費量及びCO2排出量を算出しました。【平成30年3月策定】

市内小中学校16校への空調設備の設置により、平成28年度に作成した運用マニュアルに基づき、エアコン稼働基準の遵守など共通認識のもと環境負荷低減に向けて積極的に取り組みました。

○平成30年度の主な実施内容

環境家計簿の普及促進を目的に、環境カウンセラーによる環境家計簿診断を実施します。

しもつけ環境市民会議との協働事業である環境フェアの開催を継続します。

引き続き、学校と連携を取りながら学校施設空調設備運用マニュアルを遵守し、より良い教育環境の充実と環境負荷低減に取り組めます。

4-1-2 環境に配慮した省エネ型製品の利用促進

環境指標	—
重点的に進めていく協働の取組内容	
○環境に配慮した省エネ型製品の利用促進	

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

温室効果ガス排出量削減のための県民総ぐるみ行動「COOL CHOICEとちぎ」共同宣言に参加しました。

省エネ家電品への買換えキャンペーン「COOL CHOICEとちぎチャレンジ」について、広報啓発により市民の参加を促しました。

◆市の取組

充電用電力の発電・送電・充電まで含めた電気自動車（EV）の省エネ効果についての情報収集と情報提供を行いました。

下野市グリーン調達推進方針に基づき、庁内消耗品等購入時に環境物品を優先的に調達しました。前年に比べ調達率は下がりましたが、昨年同様高い調達率を実現できました。【環境物品調達率 89%】

○平成30年度の主な実施内容

「COOL CHOICE とちぎ」などのキャンペーン協力により、省エネ型製品の普及促進を図ります。

「COOL CHOICE とちぎ」は、国が進める国民運動「COOL CHOICE（賢い選択）」に呼応し、温室効果ガス排出量の削減目標達成のため、省エネ・低炭素型の「製品」、「サービス」、「行動」等、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を栃木県民一人ひとりに広げ、県民総ぐるみの行動につなげていく取組です。

個別目標 4-2 創エネ・蓄エネの推進

4-2-1 蓄エネなどエネルギーの効率利用の促進

環境指標	住宅用太陽光発電システム設置補助金交付件数 ※取組 4-2-2 再生可能エネルギーなどの利用推進の指標を兼ねる						
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29	単位
取組のめやす	—	累計750以上(H27)					件
交付件数	261(H23)	551	700	800	897	979	件
達成率	—	73.5	93.3	106.7	119.6(参考値)	130.5(参考値)	%
その他の指標					計画策定時	取組のめやす	取組状況(H29)
市の施設への太陽光発電施設導入件数					4	現状より増加	14
市の施設への太陽熱利用施設導入件数(発電、給湯含む)					1	現状より増加	2
重点的に進めていく協働の取組内容							
★太陽光発電、小水力発電など再生可能エネルギー利用の推進 ※★は市の重点的施策 ○太陽熱利用、蓄電設備など蓄エネの普及促進 ○エネルギーの地産地消の推進 ○市民等による再生可能エネルギー活用の検討と推進 ○環境家計簿など、エネルギー消費量のチェックと低減化の促進							

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

太陽光発電システムの設置申請者に対して1kwあたり1万円(上限4万円)の助成を実施しました。【助成件数82件】

太陽光設置補助金の申請者は減少傾向にあります。今後は補助制度の周知方法や制度の見直しなどを検討します。

◆市の取組

市庁舎の太陽光発電状況及び地中熱利用システム稼働状況のモニターを1階中央の東西通路ATM設置個所付近に掲示し、来庁者に対してのPRを行いました。

家庭用燃料電池コージェネレーションシステム(熱源より電力と熱を生産し供給するシステム)について、市役所窓口に啓発パンフレットを設置しました。



屋上部に太陽光パネルが設置された市庁舎



地中熱を利用した空調設備(市庁舎)

○平成30年度の実施内容

太陽光発電システムの設置補助制度の周知啓発に努め、利用者の増加を図ります。公共施設における太陽光の発電や省エネについての普及啓発活動を行います。

個別目標 4-3 環境負荷の少ないまちづくりの推進

4-3-1 快適な気候からなるまちづくりの推進

環境指標	市民1人当たりの都市公園面積						
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29	単位
取組のめやす	—	11.77 (H27)					m ²
都市公園面積	7.78 (H21)	8.89	9.03	13.54	13.51	15.26	m ²
達成率	—	75.5	76.7	115.0	114.8(参考値)	129.7(参考値)	%
その他の指標					計画策定時	取組のめやす	取組状況(H29)
住宅地や施設の緑化・街路樹の植栽管理					—	—	推進中
重点的に進めていく協働の取組内容							
<ul style="list-style-type: none"> ○都市緑化などによる都市熱の緩和 ○クール&ウォームシェアに配慮したまちづくりの推進 ○エコイベントの推進 							

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

緑豊かな住環境の実現に寄与するため、生垣奨励補助を実施しています。

補助額：実費の2分の1（限度額5万円） 補助実績：平成29年度 0件

◆市の取組

緑豊かな環境保全を目的とした、高中木の街路樹の剪定、防除を定期的を実施し、適正管理を実施しました。【平成29年度 3回実施】

苗木の無料配布を行い、住宅地の緑化を推進しました。

【4月 春季苗木配布会（天平の花まつり） アジサイ300本配布】

【11月 秋季苗木配布会（市民農園まつり） ブラックベリー300本配布】

植栽ボランティア活動を通じ省エネ型まちづくりへの意識啓発を図りました。

市民生活にとって重要な公共空間である公園の美化を目的とした愛パーク登録団体に対し美化活動に必要なゴミ袋、軍手等消耗品の購入等補助を実施しました。

○平成30年度の実施内容

生垣奨励補助を継続することにより、緑化を推進し緑豊かな潤いのある生活環境の実現を図ります。

4-3-2 省エネ・創エネ・蓄エネ型まちづくりの推進

環境指標	鉄道・バスなど公共交通の便利さ(満足度)					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29
取組のめやす	47.3% (H23アンケート結果)	満足とやや満足の割合が向上しています。				
その他の指標				計画策定時	取組のめやす	取組状況(H28)
自転車の利用しやすさ(満足度)				42.2% (H23アンケート結果)	満足とやや満足の割合の向上	—
重点的に進めていく協働の取組内容						
<p>★歩道・歩行環境の確保、自転車通行帯、自転車道・駐輪施設の整備 ※★は市の重点的施策</p> <p>○公共交通機関利用の推進、バスなど公共交通機関の利便性向上</p> <p>○エコイベントの推進</p>						

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

市内各駅周辺に設置してある自転車駐車場の管理を行うとともに、駅周辺における自転車の放置を防止することにより交通環境を確保し、交通の安全と併せて美観保持を図りました。

【年間利用者数 407,279名】

【放置自転車撤去数 191件】



小金井駅東自転車駐車場

◆市の取組

良好な自転車利用環境を目的とした、田川及び姿川のサイクリングロードの除草など適正な管理を、管理業者の他、地域のボランティア・PTA等の協力を得て行いました。

デマンドバスの運行について、平成28年3月に見直した公共交通総合連携計画に基づき、利用者等へのアンケートを行い利便性の向上を図りました。

【年間利用者数 22,275名】

道路照明の設置、修繕について、省エネルギー対策を目的に、主にLED照明を導入しました。

○平成30年度の実施内容

市内自転車駐車場の管理と駅周辺の放置自転車防止に努め交通環境を確保し、交通安全と美観保持を図ります。

個別目標 5 - 1 環境学習・環境保全活動の推進

5 - 1 - 1 環境教育・環境学習の推進

環境指標	環境学習機会の充実(環境学習センターの整備) ※取組 5-1-2 環境保全活動の推進の指標を兼ねる					
取組のめやす	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29
取組のめやす	いつでも、さまざまな環境問題について学習できる場があり、学び、環境にやさしい活動が進められています。					
その他の指標	計画策定時	取組のめやす	取組状況(H29)			
環境副読本の作成、環境学習教材の整備	—	—	—			
重点的に進めていく協働の取組内容						
○勉強会などの促進						
○環境講座・出前講座・体験学習の充実、環境学習への参加機会の提供						

環境指標	しもつけの環境を学ぶイベントの充実 ※取組 5-2-1 環境交流の促進の指標を兼ねる					
取組のめやす	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29
取組のめやす	市民団体と市及び県が連携した環境学習やイベントが充実し、多様な環境学習機会があります。					
重点的に進めていく協働の取組内容						
★蔓巻公園の環境学習拠点化と活用(環境学習センターの整備) ※★は市の重点的施策						
○しもつけの環境を学ぶイベントの充実						
○環境副読本・環境情報など環境学習教材の整備と提供						

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

環境学習に関する図書の企画コーナーの展示を行いました。

太陽光発電やリサイクルシステムなど環境に関する幅広い分野の書籍を展示し、市民の環境保護に対する意識を高めることができました。また、環境に関する図書資料の利用促進につながりました。【4月～7月実施】

小学生とその保護者を対象に、ごみ処理施設におけるごみ処理の実態と、企業における徹底したごみの分別と再資源化の取り組みを見学する「リサイクルを考えよう！身近なところのリサイクルバスツアー」を実施しました。【参加者49名】

◆市の取組

環境学習に関する研究、社会副読本の編集を行いました。

○平成30年度の実施内容

環境学習に関する研究、社会科副読本の編集を行います。

小学生を対象にしたリサイクルバスツアーを実施します。

個別目標 5-2 環境パートナーシップの形成

5-2-1 環境交流の促進

環境指標	環境フォーラムなどの定期開催					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29
取組のめやす	毎年1回開催 多くの市民、市民団体が参加し、環境交流を深めています。					
重点的に進めていく協働の取組内容						
★環境フォーラムなどの定期開催と参加促進 ※★は市の重点的施策 ★市民団体との連携によるエコイベントの実施 ○環境学習・環境保全活動機会の提供と参加促進 ○エコイベントなど環境に関するイベントの充実と参加促進 ○県との連携によるエコイベントの実施						

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

「人と自然が共生した持続可能な環境都市“しもつけ”を目指して」を目指す環境像として、しもつけ環境市民会議と下野市の共催で、しもつけ環境フェアを平成30年2月25日（日）に開催しました。しもつけ環境市民会議と市の協働事業として互いの持ち味を生かした企画内容となるよう協議を重ね、講演及び環境団体によるブース展示を行いました。



しもつけ環境フェアの様子

- ・左写真 上田高嘉氏による講演
- ・右写真 足踏み式発電機を体験

行政や市内外の環境活動団体、市民等との連携によるエコイベントの実施や協力など、幅広い環境交流の機会を充実させ、環境パートナーシップの啓発と普及に努めました。

【生涯学習情報センターまつり 平成29年10月15日（日）】

【エコテックとちぎ 平成29年11月3日（金）、4日（土）】

【消費者まつり 平成30年1月21日（日）】

○平成30年度の実施内容

環境フォーラムを開催します。



しもつけ環境市民会議
マスコットキャラクター
【エコ皮皮】

個別目標 5-3 環境調査・環境情報の整備と発信

5-3-1 環境調査の推進・調査結果の公開

環境指標	—
重点的に進めていく協働の取組内容	
○環境調査の実施・調査結果の整備 ○環境状況、計画の進みぐあいの整理(環境報告書の作成など) ○市民等の環境保全行動の情報整理、他	

5-3-2 環境情報の整備と発信

環境指標	環境の状況に関する情報					
	計画策定時	H25	H26	H27	H28	H29
取組のめやす	環境に関する調査・測定結果の情報が提供されています。					
その他の指標	計画策定時	取組のめやす	取組状況(H29)			
計画の進みぐあいに関する情報	—	情報提供	情報提供			
環境保全活動に関する情報	広報・HPで発信	広報・HPで発信	広報・HPで発信			
市民等の環境保全への取組事例(紹介)	—	事例紹介	事例紹介			
重点的に進めていく協働の取組内容						
★「しもつけの環境」としての環境報告・環境情報の整備及び市のホームページでの発信 ※★は市の重点的施策						
○環境学習教材の整備・充実(再掲)						

○平成29年度の取組状況

◆協働の取組

本市の環境状況や環境基本計画に掲げられた取組の実施状況を取りまとめた環境状況報告書「しもつけの環境」を作成し、ホームページで発信するとともに、概要版を各戸配布しました。

○平成30年度の主な実施内容

環境状況報告書「しもつけの環境」の作成及び発信を行います。

しもつけの環境（環境状況報告書 平成30年度版）

発行年月 平成30年9月

発行 〒329-0492

下野市笹原26

下野市市民生活部環境課

電話 0285-32-8898

E-mail kankyou@city.shimotsuke.lg.jp